

記者発表資料

国土交通省豊橋河川事務所

平成 24年 7月 3日

豊川の河川敷における特定外来種(オオキンケイギク)駆除

1. 概要 : 豊川沿いに繁茂しているオオキンケイギクの駆除作業を通じて、豊川固有の自然環境を保全するとともに、環境問題への意識啓発を行う。
2. 日時・場所 : 平成24年7月4日(水) 9時30分～11時
豊川右岸江島橋を上流へ約1km (※一般の参加は大歓迎)
3. 添付資料 : 別紙資料
4. 解 禁 : 指定なし
5. 撮 影 : 自由
6. 配布先 : 豊橋市政記者会
7. 問合せ先 : 国土交通省豊橋河川事務所 管理課長 ながしま 長嶋 よしたか 佳孝
電話 0532-48-8105 (ダイヤルイン) 090-8868-6148 (携帯)
FAX 0532-48-8100

オオキンケイギク (キク科, 多年生草本)

●北アメリカ(ミシガン～フロリダ, ニューメキシコ) 原産 / 1880年代に導入

●侵入域: 東北～九州 (水辺国調)

観賞用や緑化植物として持ち込まれたものが野外に定着し、日本各地でみられるようになりました。河川敷や海岸、道ばたなどに生えていて、春～夏にかけて橙黄色の花を咲かせます。

大きな群落をつくることもあり、ほかの植物を追いやってしまう恐れがあります。



オオキンケイギク

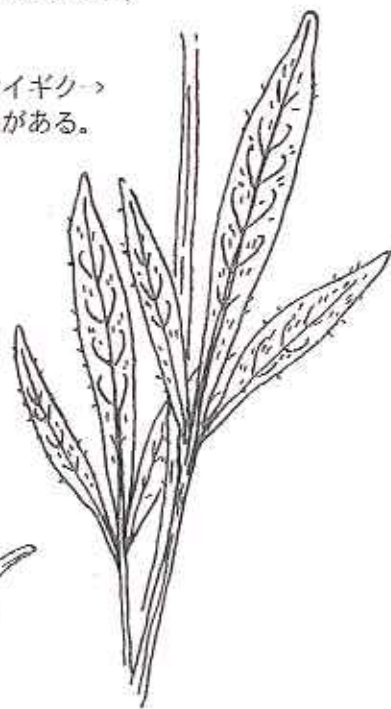
茎の高さは30～70cmになります。葉は茎の下のほうに集まっていて、荒い毛があります。



オオキンケイギク

オオキンケイギクには、育成された園芸品種が多くみられます。また、オオキンケイギクの仲間の外来植物である、キンケイギクやハルシャギク(左下)も観賞用として日本に持ち込まれてきました。

オオキンケイギク
葉は両面に毛がある。



←ハルシャギク

全体に毛はなく、葉は対生。



ハルシャギク

ハルシャギクは河原でよくみられる外来種です。花びらのつけ根が紫褐色で、葉や茎に毛は生えていません。

